

Q5.接種券を失くした時は？

65歳以上の方には、4月中に住民票のある住所に接種券をお送りしています。お手元に接種券が無い場合は、再発行ができますので、健康推進課にご連絡ください。

Q6.引っ越しした場合は？

接種券は、接種する時点に住民票がある市町村の接種券しか使用することができません。転入の際に『新型コロナワクチン新接種券申請書兼接種記録同意書』を提出していただき、接種券を発行するようになります。

Q7.接種当日、接種後の注意事項は？

接種当日は、ご自宅で体温を測定し、発熱や体調の悪い場合は、接種をお控えください。上腕への筋肉注射ですので、肩を出しやすい服装でお越しください。

接種するためには①接種券、②本人確認書類(マイナンバーカード、健康保険証、運転免許証など)が必要です。予診票は市内医療機関に置いています。

接種後は15分程度(過去に重いアレルギー症状を起こしたことがある方は30分程度)は、体調の変化がないか様子を見るために接種会場で待機しましょう。当日の入浴はさしつかえありませんが、接種部位をするのはやめましょう。接種当日の激しい運動は避けましょう。

接種後、接種部位の異常な反応や、2日以上熱が続く場合、症状が重い場合、ワクチンでは起こりにくい次の症状などがみられる場合は、医療機関等への受診や、下記の『大分県新型コロナワクチン副反応等専門相談窓口』に相談してください。

大分県新型コロナワクチン副反応等専門相談窓口

☎097-506-2850(24時間対応(平日、土日・祝日))

【相談例】 「持病を持っているが、接種は問題ないか」
「接種後3日経っても腫れている」「注射後に発熱した」等

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

ワクチンに関することで相談がある方はお問い合わせください。

☆電話番号 0120-761-770

☆対応時間 9時～21時(土日・祝日も実施)

★変異ウイルス対策について★ 参考：大分県ホームページ

これまでの対策だけでは感染は防げません。一段と強化した対策をお願いします。他県では、3密(密閉、密集、密接)の1つでもクラスターが発生しています。

《マスク対策》

- ・屋内では、不織布マスクをしましょう
- ・密になる場所では、マスクは2枚重ねしましょう
(不織布マスクの上に、布やウレタンマスクを)
- ・マスク着用の上、できる限り距離を確保しましょう
- ・マスク着用の上、短時間の接触(会食、会話)にしましょう



《入念な手洗いと手指消毒》

《3密の回避(1密もできる限り回避)》

- ・密を回避できない場合は十分な感染防止対策をしましょう

津久見市役所 健康推進課

新型コロナワクチン接種対策チーム TEL 82-9523(直通)

新型コロナワクチン接種についてのお知らせ

高齢者の新型コロナワクチン接種が始まりました

国が定めた優先順位を踏まえ、4月に高齢者(65歳以上)の方に接種券を郵送し、5月から高齢者の方から順次個別接種を開始しました。基礎疾患有する方、65歳未満の方のワクチン接種についても詳細が決まり次第お知らせします。

接種するためには…予約をしましょう(事前に予約がないと接種できません)

◆市内にかかりつけがある方

外来受診時に接種券を持参してご相談、ご予約するようお願いします。

◆かかりつけがない方

下記「接種可能な市内の医療機関一覧」の※以外の医療機関へお問い合わせください。

◆やむを得ない事情により、市外での接種を希望される方

注) 住民票所在地での接種が原則ですが、やむを得ない事情がある場合は市外での接種も可能です。

内容によって、手続きが必要となる場合があります。



接種可能な市内の医療機関一覧

※の医療機関は、かかりつけの方のみ接種可能です。

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
秋岡 医院	82-2617	後藤 医院	82-3200
池邊整形外科	82-3588	つくみクリニック	85-0055
大石 医院	82-2014	姫野胃腸科クリニック	85-0369
小田クリニック	82-0280	深江 医院	82-2348
小宅 医院	82-2015	保戸島診療所	87-2320
金田 医院	82-2881	津久見中央病院	82-1123
小手川内科クリニック	84-9221		

新型コロナワクチン接種 Q&A

Q1.ワクチン接種は必ず受けないといけませんか？

予防接種法で16歳以上の方は受けるよう努めなければならない努力義務とされていますが、強制ではありません。接種を受けることでの感染症予防の効果と副反応等について、理解したうえで、自らの意思で受けるようになります。周囲に接種を強制することはできません。

Q2.ワクチンの効果は？

ファイザー社ワクチンは2回接種(3週間の間隔)で、約95%の有効性があり、発熱やせきなどの症状がでることを防ぐ効果が認められています。

多くの方に接種を受けていただくことで、重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことも期待されます。

Q3.接種の対象者は？

ワクチンの接種には、優先順位があります。医療従事者、65歳以上の高齢者、基礎疾患有する方、その後16歳以上の一般の方に順次接種が行われます。ワクチンを受けるかお悩みの方は主治医とご相談ください。

Q4.ワクチン接種の流れは？

接種券を送付されている方(現時点では65歳以上の方)が、医療機関に予約をして、接種するようになります。接種日については各医療機関からご連絡がありますので、指示に従ってください。